

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 超相分離ナノ構造制御技術の創出と新概念キャリアマネジメント機構の実証
2. 研究代表者： 加藤 岳仁（小山工業高等専門学校 機械工学科 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、電子素子の励起子生成からキャリア動作機構を含む、素過程の解明から得た多くの知見や発想とマイクロ・ナノ相分離構造制御技術の飛躍的な拡充により、電子素子の根本的な構造と機構変革による超高機能な塗布型発電体の創製を目指す研究である。フェーズ1では、まだ解決すべき問題も残されているが、大変意欲的に進められており、研究とその応用に真摯に取り組む姿勢は高く評価できる。概ね当初の年度計画どおりに進捗しており、成果の発表も活発である。フェーズ2では、目標達成に向けた具体的なアプローチが提示されている。実用化に向けた重要な課題に直面していくと思われるが、適切なパートナーを選び、新概念キャリアマネジメント機構を実証されることを大いに期待する。

以上